

施策1 自ら学び、考え、協働できる「学ぶ力」の育成

脇田委員	小川委員	重森委員
<p>・ 昨年と同様だったと思いますが、資料5(訂正)に示された成果指標と資料4・6がきちんとリンクしていないため、評価は難しいわけですが、全体的に俯瞰して、概ね施策方針に向けて推移していると推察しました。</p> <p>・ 1-1の概要にある「課題の発見・解決に向けた主体的・協働的に学ぶ学習」は、これからの時代に重要であることは間違いないと思いますが、それは具体的にはどのような学習であるのかが気になります。そのような学習が進捗していることを示す成果指標はどのようなものなのか、そのことについても検討する必要があると思います。高校では「探究」の授業が、大学では「PBL・CBL」が取り組まれています、それらも視野に入れつつ、近江八幡市の歴史や環境を活かした、ユニークな学習スタイルが生まれてくることを期待しています。</p>	<p>・ すべての項目で成果指標が前年より数字が上がっており、成果があらわれていると思います。前年度は授業改善推進モデル校、本年度は「生き抜く力育成研究校」等それぞれモデル校を設置して研究・実践したことはすべての学校で共有して工夫したこと・よりよくするための問題点などを見つけて全体として授業改善の推進を図っていただければと思います。</p> <p>・ 就学前の子どもへの絵本の読み聞かせについては非常に大切だと思うので、せっかく蔵書が充実したのなら職員さんだけでなく読み聞かせボランティア等を活用して積極的にすすめてほしいです。</p>	<p>・ 学校司書の増員により、読書環境の充実と活用が深まったことはよいと思うが、課題としてあげられている学校司書の非常勤により生じる課題（教員との打ち合わせ時間の捻出、環境整備への時間不足）解決への取り組みはどのような状況か。</p>
西田委員	大更委員	圓山委員
<p>・ 1-1実績と課題を基に7年度も引き続きよろしく申し上げます。</p> <p>・ 1-2実績数字が上がってはいるが、残りの2年で達成できるようにしていただきたい。</p> <p>・ 1-3、4、6、7現時点で目標達成している項目は目標の再設定等ご検討いただきたい。</p> <p>・ 1-5全国学習調査での項目の有無にかかわらず施策であるので、独自の方法での実施をしていただきたい。</p>	<p>・ ICタグの導入により、図書館内でのリファレンスを充実や各校園に出向いてのブックトーク・お話会の充実などが期待しています。</p> <p>・ 今後もブックトークなど様々な取り組みができる職員の育成をお願いします。</p>	<p>・ 学校司書の増員により、学校図書館の使い方など、以前より改善がみられる。学校司書が常勤でないため、不在の日は学校図書館が閉館の曜日がある学校があります。子ども達にとって身近な学校図書館で、いつでも本を手にとれる読書活動推進の為、保護者・地域のボランティアさんの御協力も得ながら、学校図書館は毎日開館につとめて頂きたいです。</p>

施策2 多様な個性を理解し、自他を尊重する人権感覚の育成

脇田委員	小川委員	重森委員
<p>・ 施策1でコメントしたことと同じく、全体的に俯瞰して、施策方針の達成に向けて順調な推移がうかがえると判断しました。</p> <p>・ 2-2「外国にルーツをもつ子どもへの支援」について、大変丁寧に取り組まれて実績をあげているように思いました。また、同時に新たな課題の確認や対応も検討されており、評価できる点かなと思いました。</p>	<p>・ 外国にルーツをもつ子どもへの支援は多言語化や家庭の事情などさまざまな配慮が必要ですが、教育だけでなく子どもの生活にも直結することなのできめ細やかな対応をお願いできればと思います。</p>	<p>・ 翻訳アプリの活用を…との意見を受けて、タブレット端末や自動翻訳機の活用は外国人園児児童生徒にとって人に頼るのではなく、自分から理解していこうとする生き抜く力にもつながる意欲を高めることができると考える。引き続き取り組んでいただきたい。</p>
西田委員	大更委員	圓山委員
<p>・ 2-1、2、3、4 R7年度も慎重かつ丁寧に進めていただきたい。</p> <p>・ 成果指標において目標達成及び、目標達成に近い項目に対しては、目標の再設定をお願いします。</p>	<p>・ 小規模校においても教科担任制を進めている今年度であります、これまで担任が進めてきた道徳科においても全教員が道徳的価値22項目に対して担当を決めて全学年で授業を進めるなど新たな模索を進めてはどうでしょうか。</p> <p>・ 全職員が児童との関わりが大きい小規模校の特性を生かし、評価の在り方も検討可能かと考えます。</p> <p>・ 性の多様性を含めて、幅広い人権感覚が求められます。専門的な学びと日々の実践などで今後も取組みを進めていただきたいです。</p>	<p>・ 外国にルーツを持つ子どもへの支援として、母語支援員による母語の支援はもとより、日常使う日本語をもっと修得出来る様に支援員による日本語指導も引き続きお願いします。</p>

施策3 不登校やいじめ・問題行動などへの取組や支援の充実

R7 ヒアリング対象施策

協田委員	小川委員	重森委員
・施策1でコメントしたことと同じく、全体的に俯瞰して、施策方針の達成に向けて順調な推移がうかがえると判断しました。 ・3-6では、実績として関係機関の関係性・連携を深めた上で、さらに相互の理解と関係性づくりが必要と書かれています。また、3-7では、不登校やいじめ、不就労、引きこもり等の複合する課題に対して、連携体制の構築や施設整備を進めておられることは大いに評価できることかと思えます。困難を抱えた若者・子ども「当事者本意」の取り組みにしていくためにも、福祉部局も含めた関係機関や地域社会とのさらなる連携によるプラットホームの構築に努めていただきたいと思います。	・中学生の授業エスケープ数が半減しているが何か有効な対策が功を奏したのでしょうか。それでも最終目標達成にはまだまだですし、不登校児童生徒在籍率も依然として高いままなのになります。事案も複雑だったりに対応に時間がかかったり、現場は本当に大変だと思います。人員も時間も足りていないとは思いますがここで解決しないと社会的な自立がどんどん難しくなるので頑張ってくださいたいです。 ・教育相談については電話や対面だけでなくメールやLINEを活用したり、月に数回でもいいので土日や夜間にも相談できる体制をつくっていただけないでしょうか。	・生きづらさを感じる子ども・若者が持てる力を十分に発揮し、社会とつながり生き抜いていくためのネットワークの整備・充実は、サポーターの養成や資質向上は不可欠であるとする。丁寧に確実に進めていただきたい。
西田委員	大更委員	圓山委員
・いじめ問題について、児童生徒用のタブレットに緊急SOSアイコンを導入されておられる市町村もあるので参考にしていきたい。 ・3-1、4増員により課題が解決できるように取組をお願いします。 ・3-2ガイドブックの早期完成をお願いします。 ・3-3研修会の実施により更なる成果をお願いします。 ・3-5、6、7引き続き活動をお願いします。	・SSW配置校での支援は、大変充実していると思われます。 ・SSWの活用は管理職や教育相談担当、生徒指導担当、支援加配、養護教諭など多くの先生方の情報共有によって進められており、子どもや家庭の支援に貢献度は大きいと思っています。 ・2年に一度くらいでSSWの配置校が回っていると公平性が保たれると思います。	・小・中学校にスペシャルサポートルームを設置された事で、学校に通える様になったとうれしいお声を聞いています。さらに充実したサポートをお願いします。また、スペシャルサポートルームから本来の教室へ少しづつ入り集団行動に慣れるサポートも引き続きお願いします。

施策4 特別支援教育の充実

協田委員	小川委員	重森委員
・施策1でコメントしたことと同じく、全体的に俯瞰して、施策方針の達成に向けて順調な推移がうかがえると判断しました。特別支援教育支援員の配置と適切な支援、医療ケアが必要な子どものための看護師の配置等、適切に取り組んでおられると思います。	・最近我々事業者内で、発達障害（もしくはグレーゾーン）ではないかと思われる従業員への対応に悩みをかかえることも増えてきました。個々の能力にあった社会的自立に向けて幼少時から適切な支援・指導を行うことは非常に大切だと思います。専門的な知識や能力が必要な分野であると思いますが重点的な課題として取り組んでいただければと思います。	・特別支援教育の充実は、施設設備や人的充実が課題となりますが、それと共に教員の特別支援教育への真の理解と実践力が求められるとする。教員の専門性を向上を明確に意図した、実践に関わる研究を現状以上に深めていただきたい。
西田委員	大更委員	圓山委員
・4-1増員による成果を期待しております。 ・4-2継続的にお願いしたい。 ・4-3研修を計画、実施をお願いします。 ・4-4個別最適、かつ柔軟な対応が必要。 ・4-5エレベーターの早期設置をお願いします。 ・4-6引き続き適正な審査をお願いします。	・特別支援教育の専門的な経験を持つ人材の確保努力や体制づくりは今後重要なことだと思います。 ・日々様々な支援を受けて生き生きと学ぶ子どもたちの姿にも感動し、様々な取組みを全力でぶつかる子どもたちにも感動する取組みを今後もお願いします。	・特別な支援を要する子どもさんや医療的ケアを必要とする子どもさんの増加傾向がみられる中、支援員だけでなく、他の先生方にも、少しづつでも研修を受けて頂き、先生方の力をつけて頂きたいです。

施策5 就学前からの学びをつなぐ校種間のなめらかな接続の推進

R7 ヒアリング対象施策

協田委員	小川委員	重森委員
・全体的に俯瞰して、施策方針の達成に向けて順調な推移がうかがえると判断しました。	・金田学区の事例を参考に、他の学区でもすみやかに取り組んでいただければと思います。	・全ての就学前施設を対象とした「幼保小接続カリキュラム」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」についての出前研修・集合研修を校園の求めに応じて、今後も積極的にお願いしたい。
西田委員	大更委員	圓山委員
・小中学校の9年を通した育成が必要なので、学校、学年だけでなく小中での連携も必要。	・他の小学校区での接続カリキュラムの作成はどの程度進んでいるのでしょうか。 ・大きな柱については市内で共通・共有し、学校の特徴や規模に応じたカリキュラムが進むといいと思います。	・小学校外国語科の授業を公開し、小中の連携を図って頂くとともに、中学校外国語科の授業も公開し、小中学校の連携をさらに深めて頂きたいです。小学校から中学校へ進級する際の学習内容の相違点も事前に伝達して頂くと生徒の戸惑いが少ないと思います。

施策6 情報化・グローバル化に対応した教育の推進

協田委員	小川委員	重森委員
	・ICT機器とのつきあいかたや情報モラル教育など、子どもがこれから成長していくためには必要不可欠なものであり教える側も率先して学ぶべきことだと思います。 ・近江八幡はたくさんの外国人が訪れる観光地でもあり触れ合う機会も多く、また今後グローバルに活躍するためには英語は必要不可欠なものです。小学生から楽しく身につくように指導をお願いしたいです。	・成果指標を全国学力・学習状況調査を活用することは、教員の負担軽減にとって意味がありますが、調査項目がなくなると実績がとれなくなる。この施策に限らず、それに代わる把握方法を検討していただきたい。
西田委員	大更委員	圓山委員
・ICT、グローバル教育は今後さらなる発展が必要であるため、目標の再設定、再設定の検討が必要。	・タブレットの更新を機に学校や家庭内でのタブレット活用だけでなく、地域活動やイベントでの活用等幅広い活用を期待したいです。 ・さまざまな国をルーツに持つ子どもたちが市内校園に在籍する現状をポジティブに捉え異文化交流を推進するとともに、各校園が取組みや講師紹介を含め連携体制・連絡体制を一層進めていただきたい。	・ICT機器の使用で、調べ、理解し、次に、自分の考えを生み出す学習活動をさらに目指してほしいです。

施策7 運動と食習慣の定着による健康の保持・増進

協田委員	小川委員	重森委員
・全体的に俯瞰して、施策方針の達成に向けて順調な推移がうかがえると判断しました。 ・学校部活動が段階的に地域部活動に移行することが非常に困難であるという指摘は理解しましたが、その困難を乗り越える提案がないところに不安をおぼえました。	・運動時間の減少に歯止めがかからないことが気になります。猛暑の期間も長く、戸外で時間をとって運動することも難しくなってきたり部活動の運営の見直しなど課題もありますが、民間の団体などと協力して成長期の体づくりを積極的に行っていただきたいです。	・部活動主事の配置により部活動への支援強化を図る準備できたことは画期的で、この取組が生徒にとっても教員にとってもよいものとなるよう丁寧に進めていただきたい。
西田委員	大更委員	圓山委員
・成果指標の達成率が良いので、目標の再設定の検討をお願いします。	・コロナ禍の影響は子どもたちの体力作りにも影響を与えたと思われます。加えて夏の猛暑。 ・体育の授業が教科担任制の一翼をになっていくようになれば実技指導などの具体的な研修なども必要になるのではないのでしょうか？県からの伝達講習なども進めていただきたい。	・校医の先生方から、現代子は体力が低下しているので、朝の時間等、運動場を走るなど日頃より運動を心掛けて欲しいと聞いています。また、外遊びや運動に目を向けた活動のさらなる推進をお願いします。 ・食育活動の推進では、SNS等でのレシピ公開など取り組んで頂きありがとうございます。

施策8 地域の歴史や伝統、文化に学ぶふるさと学習の推進

R7 ヒアリング対象施策

協田委員	小川委員	重森委員
	・ふるさとについての学習は子どもだけでなく大人の方向けにも行ってほしい。地域を知り愛着をもつことで観光で訪れる人にも心がこもったおもてなしや対応ができと思うので。 ・富士宮との交流事業はお互いを知る良い機会だと思うが時期を考えたほうが良いと思う。この意見は以前も出ていたように思うが命の危険もある時期に実施すべきではないと思います。	・小・中学校の9年間を通じて、地域密着をテーマにした学習を展開できるような仕組みを作っていただきたい。その中に、小学4年生では「やまのこ」、中学2年生では「就業体験」等を取り入れるなどし、現状の負担をできる限り少なくして取り組んでみてはどうか。
西田委員	大更委員	圓山委員
・学習調査がなくなっても本市独自のアンケートが可能だと思う。	・「私たちの近江八幡」の図書館やコミセンなどへの配布されているのですか？	・地域の歴史や伝統、文化に学ぶふるさと学習の推進により、子どもを通して保護者も近江八幡の魅力を感じています。子どもとともに親子で近江八幡の事を学び、各ご家庭が何かしら地域に貢献出来る様な取り組みをさらにつなげて頂ける事を期待しています。

施策 9 豊かな自然や人々の生活から体験的に学ぶ環境学習の推進

協田委員	小川委員	重森委員
・9-1沖島での「やまのこ」事業は、近江八幡市ならではのユニークな取り組みだと思います。 ・9-2子どもたちが自ら栽培した農産物を調理して食べる経験は、大切なことだと思います。地域の農家の皆さんとの連携を強化し、取り組みを深めていただきたいと思います。	・全国的にも珍しい湖内の有人島で環境学習を行うということは素晴らしいと思います。安全面に注意しながら思い出に残る体験をさせてあげてほしいです。	・近江八幡市ならではの沖島での「やまのこ」事業が確実に継続できるように、子どもたちの安全最優先で取り組んでいただきたい。
西田委員	大更委員	圓山委員
・成果指標の進捗が良いので、目標の再設定、もしくは施策の深堀が必要。	・栽培活動はとても手間のかかることが多いが、このような時に地域の方々の力をお借りして、身近な自然に触れ、収穫の体験、そして食することの意義を子どもたちが体験活動として学べればよいと思います。	・ふるさと近江八幡で学べる、沖島での「やまのこ」体験学習は、子ども達にとって、素晴らしい経験となり、環境豊かなふるさとを誇りに思う学習となっていると感謝しています。 ・「やまのこ事業安全管理マニュアル」を作成し、子ども達の安全面において、ライフジャケットの購入は、大きな安心につながっています。

施策 1 0 社会的・職業的自立につながるキャリア教育の推進

協田委員	小川委員	重森委員
	・職場体験については、働くということについて考えるきっかけになるかもしれないが、事前の心構えに対する工夫や、お世話になる事業者さんの労力と時間をいただいているということを生徒たちに伝えたいので送り出してほしいです。学校のカリキュラムだから仕方なく参加する、ということがないようにするためにはどうしたらいいか考えて頂きたいです。 ・昨今の巧妙な詐欺などの報道をみると、子どもの頃からの消費者教育は重要であると思う。児童・生徒の理解度にあわせて教育ができるようなプログラムを検討して頂きたいです。	・就業体験は生徒にとって事後アンケートから意義のあるものだと考える。生徒の生の声が市民に届くようにいくつかの媒体を通して発信することで、体験先の確保・拡大につながると考える。
西田委員	大更委員	圓山委員
・成果指標が達成している項目については目標の再設定が必要。 ・成人式について、華やかに着飾った新成人のためにも思い出に残る式典にするためにも時間を延ばすことや、写真撮影スポットの設置など検討いただきたい。	・職場体験の様子や取り組みが紹介できる場があればいいと思いました。各中学校内ではそのような取り組みやイベントがあるように思いますが、せっかくなら市民にも紹介できればいいと思います。 ・キャリアパスポートをどのように活用されているのか、うまく活用すれば生き抜く力の育成プログラムに関わる取り組みになると思います。	・中学生の職場体験は「生き抜く力」を培ううえで、とても貴重な体験になっていると思う。業種への偏りを解消する為にも、各業種から事前に仕事内容が分かる資料配布やプレゼンをお願いしてはいかがでしょうか？事業者においては、さらに協力をお願いするために、他の部署からの協力もお願いします。

施策１１ 教員の資質・指導力の向上と学校園の組織力の充実

R7 ヒアリング対象施策

協田委員	小川委員	重森委員
	<div>・先生方も現場で本当にお忙しいでしょうが、時代や場に応じた指導力の強化を図ることはもちろんのこと—社会人としてご自身が納得いくようなキャリアデザインを構築してほしいです。</div> <div>・子どもが個々のタブレットを持つ時代、パソコンは1人1台（難しいならタブレットでも）持てるよう働きかけてほしいです。</div>	<div>・教職員の働き方改革の推進は必要だと考えるが、負担の中で軽減すべきものと軽減してはならないものの見極めを適切にしていくべきと思われる。例えば、テスト採点は子どもの状況把握の大切な機会であると共に教員自身の教え方の課題発見の機会でもある。子どもの成長を第一に考え、慎重に進めていただきたい。</div>
西田委員	大更委員	圓山委員
<div>・成果指標の達成済み項目について、継続と目標の再設定をお願いします。</div> <div>・教職員のパソコン等について充足できるよう、またアプリ等の更新についても予算取りをお願いします。</div>	<div>・教育研究所の新体制がスタートして教員の資質・指導力の向上に大きな力路なと思います。</div> <div>・今すぐ役立つ研修に加えて、中長期的な視野に立った研修会も大切だと思います。教員の働き方改革で、以前は長期休業中に県や他市町含め様々な研修講座に参加したり研修を積んだりしてきましたが、休暇取得の時期でもあり難しい側面もあります。</div> <div>・文化会館の改修されれば、保幼こども園小中の全員研修も可能ですが難しいのでしょうか。</div>	<div>・相談しやすい環境づくりに、教員同士のコミュニケーションを深めて頂き、人間関係を円滑に進める言葉がけや、ちょっとした心遣いによって、心が豊かになり、働きやすくなる取り組みをお願いします。</div>

施策１２ 安全・安心で豊かな教育環境の整備・充実

協田委員	小川委員	重森委員
<div>・近江八幡市には、「キッズつながり隊」というボランティア組織があることを知りました。スクールガードも含めて、人材の確保するための工夫が必要のように思いました。</div>	<div>・費用も時間もかかることですが子どもが安全かつ快適に過ごせるよう、また地域の防災拠点としての機能を果たすためにも粛々と進めて頂ければと思います。</div>	<div>・八幡西中学校の長寿命化改修工事に着手することに伴い、進捗状況や見通しについて生徒・保護者・周辺住民の方への丁寧な説明をお願いしたい。</div>
西田委員	大更委員	圓山委員
<div>・長寿命化は計画通り進めていただきたい。</div> <div>・防災意識について、滋賀県は比較的災害が少ない地域であるがゆえに、いざ災害が起きた時に経験不足があると思われる。まずは知識と意識が大切であると思われるため、より高度な訓練をすることが生き抜く力につながると思う。</div>	<div>・校園内や隣接した箇所の駐車場や、少し離れた場所になる駐車場の安全対策のうち照明機器の設置などは大丈夫でしょうか。</div> <div>・スクールガードさんの高齢化は大きな問題になっています。人材確保をみんなで進めなければなりません。</div>	<div>・スクールガードボランティアによる日々の見守り活動に心から感謝しています。地域の方々に、まかせっきりにならない様、各ご家庭での交通指導を心掛けて頂きたいです。</div> <div>・地域でも行われている交通安全指導では、子どもの参加が非常に少ないと聞いています。出来れば、地域と学校が連携して、1回でも多く、子ども達が交通安全を学べる機会を増やしてほしいです。</div>

施策１３ 急速な情報化社会や技術革新に対応した教育環境の整備・充実

協田委員	小川委員	重森委員
		・「ICT活用指導力に関する研修」を受講した教員の割合が低下したが、研修内容を更新し受講率100%を目指していただきたい。
西田委員	大更委員	圓山委員
・ICT活用指導力の研修について、対面だけでなくオンデマンドによるオンライン研修等を活用し7年度も取り組んでいただきたい。	・校務系システムの更新により校務の円滑化・効率化が一層進むことが期待できます。今後はどのような効率化が実現できたのかの検証作業も大事ですし、新システム導入での使い勝手にも検証することになると思います。 ・一人一台端末の更新により、新たなソフトやAIによる教育活動への活用など一歩先に進んだ研究や取組みを進めていただきたいです。 ・更新に伴い、セキュリティーについてやICT機器の新しい活用についての研修・研究が進ことはたいへん有意義だと思います。	・ICT機器の活用により、児童生徒の健康面への影響を考慮し、家庭におけるルール作りを啓発するチラシの配布にとどめるだけでなく、ルールを実施出来ているか、取り組みの確認も必要だと思います。

施策１４ 学校園・家庭・地域が一体となって子どもの育成に取り組む体制の確立

R7 ヒアリング対象施策

協田委員	小川委員	重森委員
・14-1の課題で「地域と学校の協働に関する課題認識や、学校運営協議会の活性化による地域と学校相互のメリットなど、教職員が十分に理解できていない」とあり、14-2の課題でも「若い教職員を中心にコミュニティ・スクールや地域学校協働活動推進員の役割について理解が十分に進んでいない現状がある」との指摘があります。この課題を解決ないしは緩和するための、もっと具体的な方策が必要ではないでしょうか。教員が多忙すぎて、地域に目を向ける余裕がないのではないかと心配になります。	・「コミュニティ・スクール」がどんなものか、どんなことが地域に求められているのかがよくわかりません。他地域で取り組みが成功しているところがあればそこから学び地域の実情にあわせたコミュニティ・スクールづくりを学校と地域が協働していけるのではないかと思います。	・学校園を支えてくださっている地域の方たちの交代が円滑に進むように、今後の担い手となる方の育成を行っていただきたい。
西田委員	大更委員	圓山委員
・学校園のボランティアについて後継者不足等も予想されることから、例えば近隣の高校や県内の大学等ボランティア意識のある若者の募集等を検討してみてはどうか。	・コミュニティスクールや地域とともにある学校園づくりの取組みは、長年積み重ねてきた成果だと思います。保護者や地域の方、コミュニティ組織との繋がり華やかな取組みではないけれど今後も本市の教育の支えとなる重要な部分だと思います。 ・社会教育団体の活性化・支援については、PTA組織だけでなくもっと幅広い支援グループが増え、今後も多くなってくるように思います。新たなサポート体制の整備が必要ではないかと思います。 ・スポーツ推進委員の市内外での活躍は献身的で活躍される姿を多く見せていただきました。いろいろとご多用であらうし、お仕事をされている方も多いとは思いますが、小中学校への何らかの派遣でサポート、支援をいただければいいなと思っています。	・学校園における地域ボランティア活動の推進により、多様な学びを頂き、子どもが育つ喜びを感じています。子ども達が地域ボランティア活動で体験している学習を保護者にも一緒に体験学習出来る機会をつくって頂き、次の世代につながるきっかけにして頂きたい。

施策15 家庭における生活習慣、学習・読書習慣の定着と地域の力を生かした学びの充実

協田委員	小川委員	重森委員
	・1日2時間以上ゲームをしている児童生徒が半数を超えているうえ、読書と勉強という最も習慣づけが難しいことを家庭で行うのは困難に近いと思う。課題図書や宿題（採点など教員の負担にならないもの）など強制的な手段はとれないのでしょうか。	・成果指標のどの項目も最終目標数値に達成できないのではないかと懸念する。家庭と協力を密にして達成目標に近づけるよう努めていただきたい。
西田委員	大更委員	圓山委員
・必ずしもスクリーンタイムの減少が学習時間の増加とかいえないと感じる。 ・R6年度の読み聞かせの割合のデータがないのは調査をしていない？	・市民の文化・教養に対する意識が、今ひとつ高まっていないように思う。	・「早寝・早起き・あさ・し・ど・う」は子どもを育てる上で、とても大事な事が集約されています。しかし、保護者への周知は、まだまだ低いです。入学式・入園式で「早寝・早起き・あさ・し・ど・う」の内容を詳しく保護者に対して啓発してほしい。 ・4カ月健診で実施されているブックスタートは家読の必要性を直接指導してもらえる貴重な事業であり、このような読書習慣につながる保護者への取組み機会を増やして欲しいです。

施策16 子どもの育ちを支える親の学びや相談・支援体制の充実

協田委員	小川委員	重森委員
・「子育てサロン」のようなオープンな「場」を設けることは、とても大切なことだと思います。保護者同士の交流、専門家との交流を通して、悩みや愚痴を聞いてもらえること、アドバイスをもらえることが保護者のケアにもなるのではないかと思います。また、オープンな「場」に辿り着けない保護者のために、ぜひ「訪問型支援」を充実させていただきたいと思いました。	・子育てサロンの開催回数が最終目標に少しでも近づくように努力してほしい。保護者も忙しいと思うので対面での開催だけでなく、オンライン視聴（アーカイブ視聴も含め）など情報がとりやすい方法や夜間や土日の開催も検討していただければと思います。	・「子育てサロン」は子育てに悩みや困難を感じる保護者にとって、参加者も増加していることから意義のある催しだと考える。実施回数が5回となっているが、最終目標は25回であり実績との乖離が大きい。その理由は…。
西田委員	大更委員	圓山委員
・子育てサロンの回数について目標数字の設定を見直す必要があるのではないか？（現状25回）	・どの学校も活動時間増を希望されている状況は、学校側が学びや相談の場での支援につなげているということであれしいことである。今後も予算の獲得をお願いしたい。 ・また、学校間で活動時間の差が生じているなら、家庭教育支援員の各校での実績を考慮した時間配分も考えていかなければならないと思う。 ・就学援助費について、学校側と教育委員会との認識の相違があるとのことだが、長年進めてきた支援事業であるので、しっかりと共通認識できるように協議を進めていただきたいです。	・子育てサロンでの内容は、子育て世代の保護者に多く聞いていただきたい、素晴らしい内容ばかりです。一人でも保護者の参加を促す様な啓発を、他の部署とも連携し、進めて頂きたい。

施策 1 7 多様な学習機会の充実

脇田委員	小川委員	重森委員
・生涯学習を通じた地域・まちづくりは、これまでの講座タイプの座学だけでなく、具体的な地域課題解決(緩和)に焦点をあわせて、その課題解決と結びついた実践活動にも生涯学習として取り組んでいただきたいと思います。「課題解決型生涯学習」を推進してはどうでしょうか。	・勉強不足で申し訳ありませんが「地域課題学習講座」なるものが開催されていることを知りませんでした。回数も大事ですが、今の旬や話題性あるテーマや人物を選んで講座を開催するのも参加者が増えるきっかけとなるかと思います。 ・市民大学オンライン講座の視聴回数が劇的に増えておりますがカウントの方法が変わったのでしょうか？	・市民大学オンライン講座の視聴回数が最終目標を上回る伸びから、時代にマッチしたものとなっていると考える。ただ、オンラインによる情報を取り入れることが難しい市民への対応はどのような状況か。
西田委員	大更委員	圓山委員
・講座の内容など、趣向が多種多様になっている現在において、内容について再検討する必要がある。	・生涯にわたって学び続ける施策を進める中心となるのはどこなのだろうか。統括しているのはやはり生涯学習課ですね。生涯学習センター的な役割を果たしているのは本市では生涯学習課でしょうか、コミセンでしょうか。 ・各コミセン・まち協は個々に様々な取組みを独自にされています。とても活発にまちづくりに、生涯学習の学ぶ場作りに貢献されています。それらをつなぐ強力なネットワークがあれば市全体を盛り上げると思います。中央公民館がになっているのですか。	・子ども達が学校で学ぶふるさと学習が、各ご家庭へ広まる取組みをすすめて頂きたいです。

施策１８ 文化芸術に触れる機会の充実とスポーツ活動の推進

脇田委員	小川委員	重森委員
<p>・18-1の課題にある「高齢者から子どもまで各世代が参加できる事業」を生み出していくためには、従来の進め方では限界があるということでしょうか。まち協に依存した形ではない、もっと別の形で事業を生み出していくとすれば、どのような仕組みが必要でしょうか。R7で学区間で事業の課題や好事例に関して情報交換を推進されるようですが、大切なことだと思いますし、そこから何か知恵が出てくるかもしれません。頑張ってください。</p> <p>・前提にある文化芸術の中身が、現代的なものでなければ、若い世代にはアピールしないのではないかと思います。R7の取組にもあるようなワークショップは大切だと思います。県内であれば、滋賀県立美術館等でも、たくさんのワークショップを開催されています。</p>	<p>・主催事業もちろん重要ですが、本年はビエンナーレも当市内で開催されることから作家との交流やワークショップの開催など協力してもらえそうな部分は依頼をしてもいいと思います。</p> <p>・またお取組み頂いているかとは思いますが国スポ・障スポ開催で整備も進み試合の観戦も可能な今年こそスポーツに親しむ機会を積極的につくりだしていただきたいです。</p>	<p>・2025国スポ・障スポで整備された施設の有効活用を希望する。</p>
西田委員	大更委員	圓山委員
<p>・継続してほしい。</p>	<p>・国スポ障スポの開催に伴って、今様々なボランティア活動に携わる方が増えています。スポーツをする、スポーツを観戦する、スポーツ活動を支える等この機に一層盛り上げていければいいなと思います。</p> <p>・国スポ障スポの開催は、スポーツのイベントや大会を通して何らかの刺激を受けるいい機会と捉え、閉幕後もその思いがスポーツに限らず高まっていけるよう市民みんなで取り組みたいです。</p> <p>・文化会館リニューアル後、一層の文化芸術活動の推進に期待しています。</p>	<p>・ふるさと応援基金を活用した「アートで広げる子どもの未来プロジェクト事業」では、本物の音楽・芸術に子ども達がふれ、感動し、将来の夢につながる事業に感謝しています。</p>

施策１９ 読書活動の推進と読書環境の充実

脇田委員	小川委員	重森委員
<p>・頑張って取り組まれていること、よく伝わってきました。引き続き、よろしく願いいたします。</p>	<p>・移動図書館車や配送サービスなど利便性のあるサービスで読書の推進を図っていることは素晴らしいです。</p> <p>・ブックスタート事業やお話会は子どもが本にふれるきっかけになるだけでなく親に対してもその重要さを知ってもらうまたとない機会であり継続とさらなる充実をさせてほしいです。</p>	<p>・図書館を利用することが困難な人のために、移動図書館車や配本サービスがより一層充実することを希望する。</p>
西田委員	大更委員	圓山委員
<p>・少子化の影響もあり就学前への貸し出し数に影響（実際増えているが、今後の見込みはどうか？）はあると思うが市民一人当たりの貸し出し数は増加している。引き続き図書館が愛される施設になってほしい。</p>	<p>・日々の図書館運営で司書の方々の仕事は大変だと思います。ICタグの導入により、効率的な管理運営事務を進めていただけたと思います。</p> <p>・今後とも来館者や利用者へのリファレンスや専門分野の研修など職員の皆さんの資質向上に取り組んでいただければありがたいです。</p>	<p>・移動図書館車の巡回回数をさらに増やして頂き、感謝しています。</p> <p>・他市では、公立病院の子ども病棟に、絵本の読み聞かせのサービスもあると聞きました。本市も、その様な取り組みがあれば良いなと思いました。</p>